

外国籍の同性パートナーと 安心して暮らす在留資格を

同性婚実現へ交流 東京



同性パートナーの在留資格をめぐるイベントで参加者の質問に答える鈴木雅子弁護士(右から2人目)=20日、東京都内

法律上の性別が同じ人との結婚(同性婚)の実現を求めている「マリッジ・フー・オール・ジャパン」は20日、外国籍の同性パートナーと安心して暮らせる在留資格を求めるトークイベントを東京都内でオンラインと併用して開きました。海外で正式に結婚している日本では「配偶者」としての在留資格が得られないもので、当事者と支援の人々のたまたかの到達点、同性婚の実現に向けた展望を交わしました。

在留資格をめぐる訴訟を担当している鈴木雅子弁護士は、最初に日本政府が進めている在留資格の厳格化について報告、その上で当事者が、日本で安心して暮らせる在留資格を求めて訴訟を起こし、救済された事例を紹介しました。

海外で結婚した日本人と外国人の同性カップルが、

日本被団協結成70年 シンポ開く

平和へ記憶受け継ぐ

日本被爆被害者団体協議会(日本被団協)のノーモア・ヒバクシャ記憶遺産を継承する会(継承する会)、全国大学生生活協同組合連合会(全大生生活協同組合連合会)は19日、東京都内、日本被団協結成70年 私産を未来につなぐための連携協定を締結したと紹介。平和に向



あいさつする田中代表委員=19日、東京都内

昭和女子大学の松田教授と2人の学生が「継承する会」として取り組むことを決めた。平和を未来につなぐための連携協定を締結したと紹介。平和に向

「議員定数削減反対!緊急アクション」記者会見から(上)

「議員定数削減反対!緊急アクション」が15日、参院議員会館で開いた記者会見で、呼びかけ人40人のうち23人が参加し、21人が「多様な声の切り捨ては許さない」とリレートークしました。2回に分けて発言を紹介します。

浅倉心づ子さん(早稲田大学名誉教授・女性差別撤廃条約実現アクション共同代表)は「法律を作った内閣や行政の仕事は監視し、少数者の声も丁寧に拾い上げるためには一定数の国会議員がぜひ必要です」と強調しました。

上野千鶴子さん(社会学者)は、小選挙区制は死票が非常に多く民意が反映しにくいとして「比例代表制の定数削減はとんでもない話」「身を切る改革」というならば、政党助成金の削減や企業献金の廃止、何より裏金問題をまず解決してほしいと語りました。

小川公代さん(上智大学外

国語学教授)は「権力を握る者が自分たちに都合のいいシステムやルールに、ゆがめようとしているのは明らかで、その不誠実さ、傲慢さ、うさんばが際立っています」と述べ、「少数政党側から多様な民意が国会に届かなくな

り、民主主義の根幹に関わる由々しき事態です」と訴えま

した。

高井ゆと里さん(倫理学者・トランスアクティブリスト)は、政権与党が都合のいいイメージで衆院を解散して不正な選挙に巻き込まれてしまつと、結果として権力集中が非常に起きやすい構造が存

在しているとして「比例代表が減ると、権力集中がますます進むことを懸念しています」と表明しました。

田中優子さん(法政大学名誉教授)は、定数削減は高市政権による与党への権力集中のたぐりみの一つだと指摘。憲法9条を変え、軍力強化に強化して戦争を引き寄せる可能性が強いと述べ「策動を一つずつつぶしていかなければ」と力を込めました。

勅使川原真衣さん(組織開発コンサルタント・作家)は「このままでは、今すでに立場の弱い方が不利な立場に追いやられること、これは改革でもなんでもなく、独裁の入り口です」と語りま

した。

民主主義破壊／専制へのわな

加藤陽子さん(東京大学名誉教授・日本近代史)は、議員定数削減法案は公開性に問題がある議員立法だと指摘し「国会議員をどのように選ぶかという一丁一番の部分

を議員立法で非公開でやることは大変に恐ろしい」と語りました。

齊藤正美さん(社会学研究

者・地方フェミニスト)は、衆院選で、富山県でいつも与党が圧勝するのは1人区が多

いからだとして、削減法案で「社会にはいろいろな人が

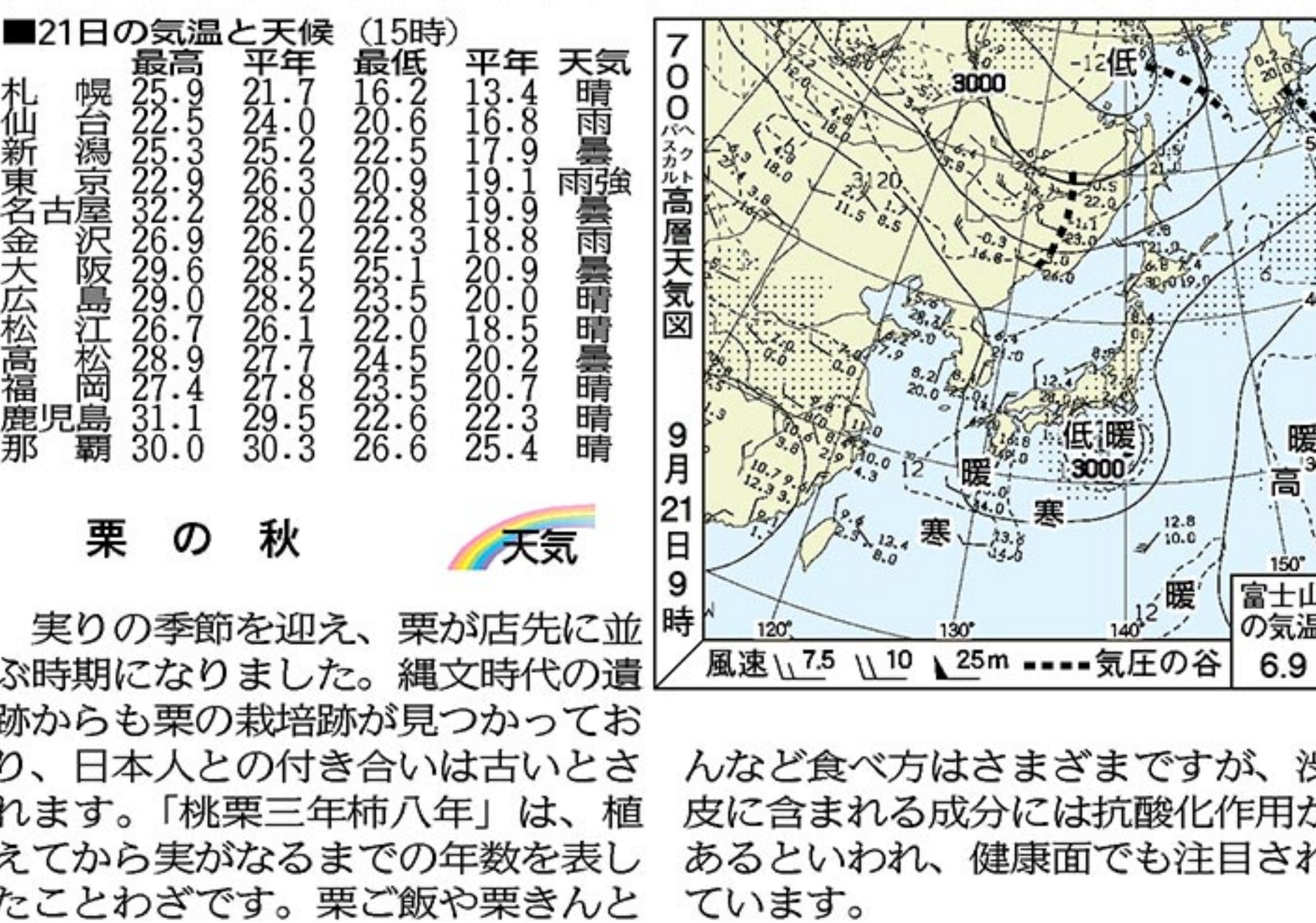
いるのに、国会で同じような考えの人ばかりしかいないね」とみんなが言うようにな

るんじゃないか」と話しました。

杉浦ひとみさん(弁護士)は「私たちの声を代弁する代表者の数を減らす、代弁する代表者の構成を変えて民主主義をゆがめようとしている。この民主主義の破壊にこれ以上黙っているわけにはいきません」と訴えました。

権力集中が進む

した。



■21日の天気
最高気温 最低気温 天気
札幌 15.0 7.0 晴
仙台 16.0 8.0 晴
東京 20.0 12.0 晴
名古屋 21.0 13.0 晴
大阪 22.0 14.0 晴
福岡 23.0 15.0 晴
札幌 15.0 7.0 晴
仙台 16.0 8.0 晴
東京 20.0 12.0 晴
名古屋 21.0 13.0 晴
大阪 22.0 14.0 晴
福岡 23.0 15.0 晴

栗の秋
実りの季節を迎え、栗が店先に並ぶ時期になりました。縄文時代の遺跡からも栗の栽培跡が見つかっており、日本人との付き合いは古いとされます。「桃栗三年柿八年」は、植えてから実がなるまでの年数を表したことわざです。栗ご飯や栗きんと

など食べ方はさまざまですが、渋皮に含まれる成分には抗酸化作用があるといわれ、健康面でも注目されています。

あぜ道に秋の訪れ
佐賀・小城
佐賀県小城市の江里山地区の棚田でヒガンバナが見頃を迎えています。

お悔やみ
可知 智子さん(かち・とも) 名古屋千種区・名東区・守山区 16日死去。87歳。家族葬を行いました。

近藤 和繁さん(こんどう・かずしげ) 前橋地区 21日死去。84歳。通夜は21日午後6時から、葬儀は24日午前10時から、いずれも前橋市天川大島町1-31の1の前橋市斎場。喪主は近藤好枝さん。

田村 正巳さん(たむら・まさみ) 盛岡地区 11日死去。96歳。家族葬を行いました。喪主は田村禮子さん。

61年入党。



出雲の阿国

Izumo no OKUNI

前座座創立95周年記念
松井 誠 特別出演

有吉佐和子 原作
津上 忠 脚色
鈴木龍男 改訂 演出

阿国 浜名美貴

時代に抗い 舞い続ける

国立文楽劇場	10月8日(木)~11日(日)
名古屋公演	10月12日(月・祝)・13日(火) Niterra日本特殊陶業市民会館
東京公演	10月17日(土)~24日(土) 三越劇場
	11月5日(木) 立川・たましんRISURUホール 11月6日(金) 武蔵野市民文化会館

観劇料金(税込) 一等席9,000円/二等席6,000円/三等席3,500円※
ユースチケット(30才以下)3,500円

■チケットお申込み
前座座 0422-49-0300(平日10:00~17:00)
前座座ウェブサイト <https://www.zenshinza.com/>

読者割引あります

